

令和7年度

MEGURO

こどもモニター



第2回 アンケート結果
— 中高生版 —



アンケートのテーマ

子どもの権利

全ての子どもが持っている、「子どもの権利」を調査しました。

アンケートの内容

1. 子どもの権利について P.1
2. 子ども条例について P.8
3. 子どもの権利の相談について P.13
4. まとめ P.20

期間

令和 7 年10月 31 日(金)から11月14 日(金)まで

実施方法

ウェブアンケート

回答状況

回答人数 76 人

中学生 …… こどもモニター49人中43 人

高校生 …… こどもモニター48人中33 人

※この報告書では、MEGURO こどもモニターのうち中高生の意見をまとめています。

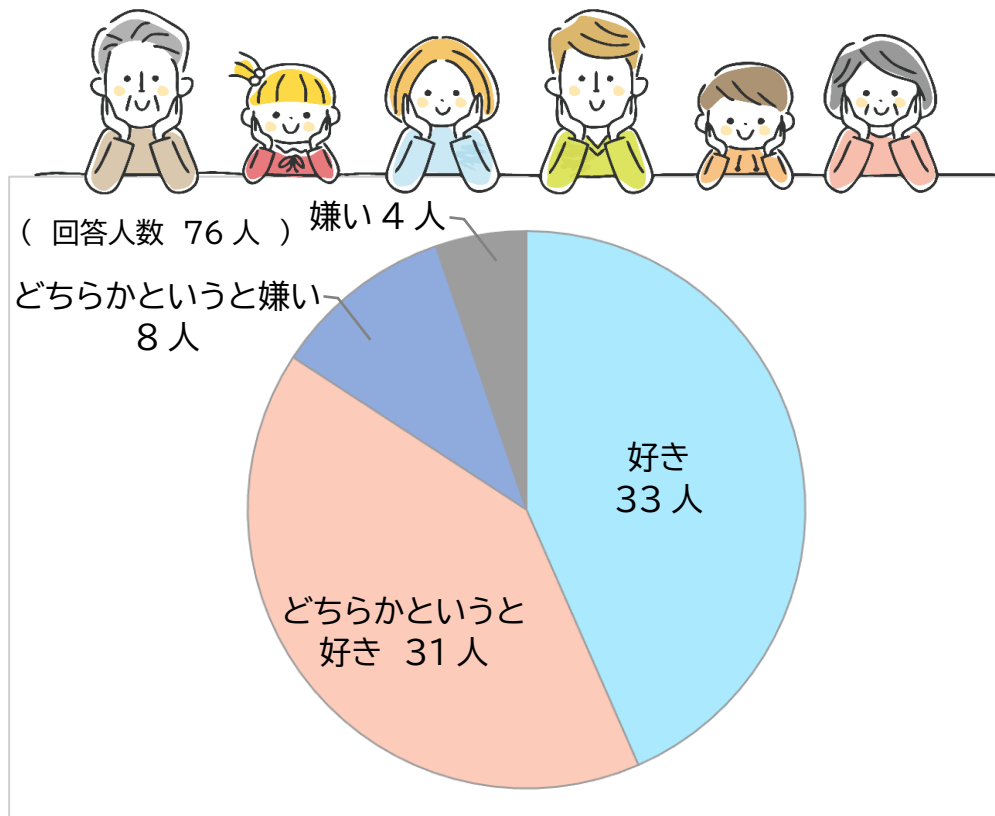
※意見の掲載にあたっては、内容を要約している場合があります。

1. 子どもの権利について 合計6問



問 1

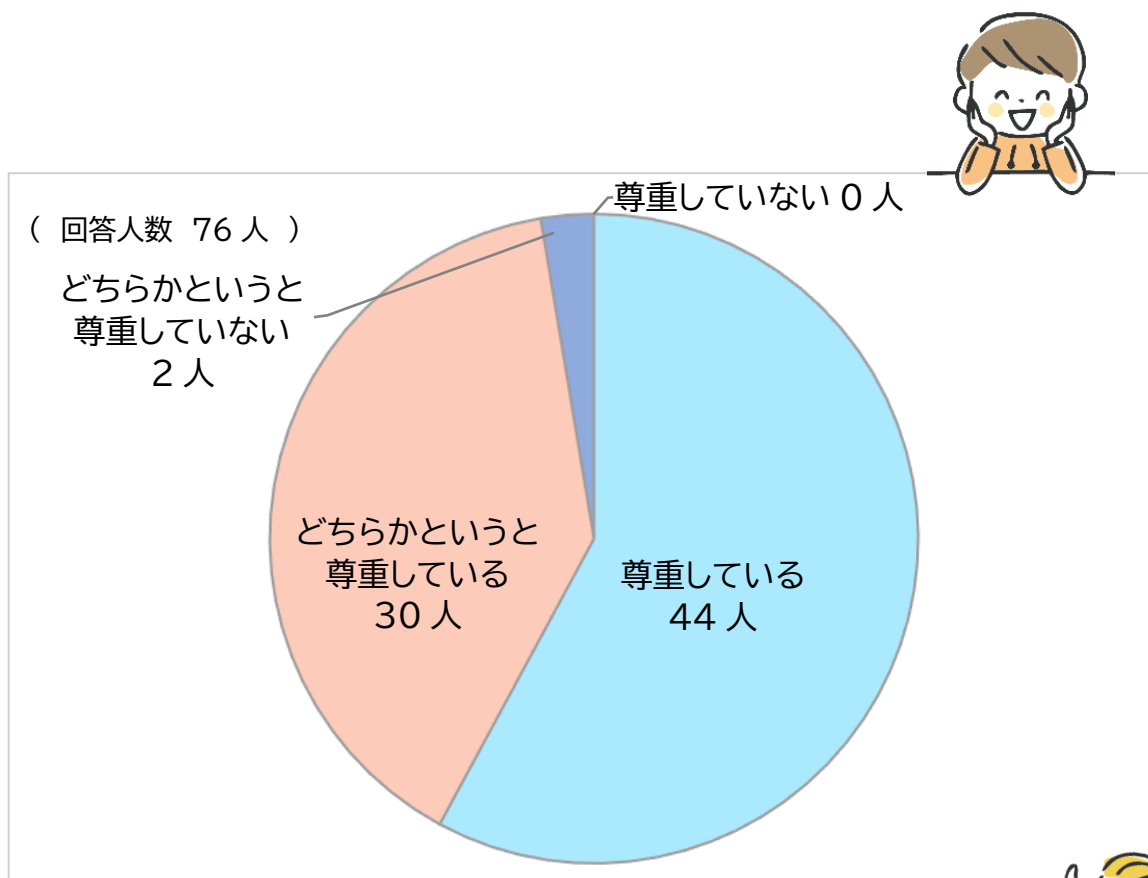
あなたは今の自分のことが好きですか。



「好き」が最も多く33人、「どちらかというとき好き」が 31 人で、合計で全体の8割以上でした。

問2

あなたは、他の人の意見や気持ちを尊重していますか。



「尊重している」が44人で最も多く、全体の半数以上となっています。
「どちらかという尊重している」が30人、「どちらかという尊重していない」が2人でした。

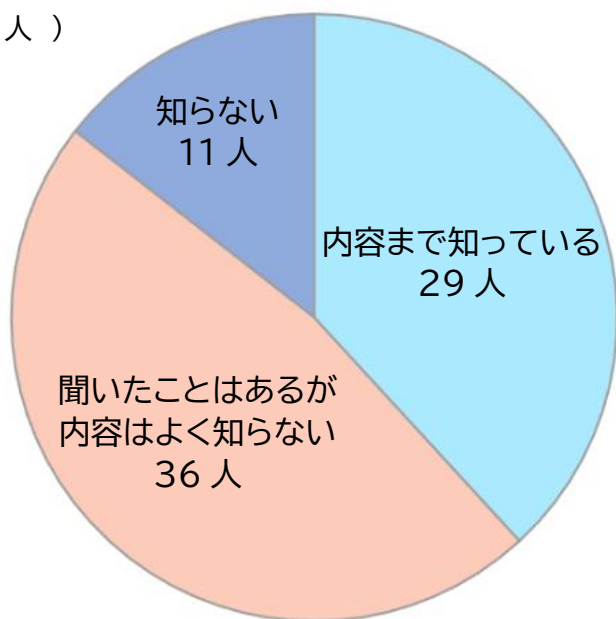


問 3

すべての子どもには、守られて育つことや自分の意見を自由に発言するなど、ありのままの自分で生きるために大切な「子どもの権利」があります。この「子どもの権利」について、知っていますか。



(回答人数 76 人)



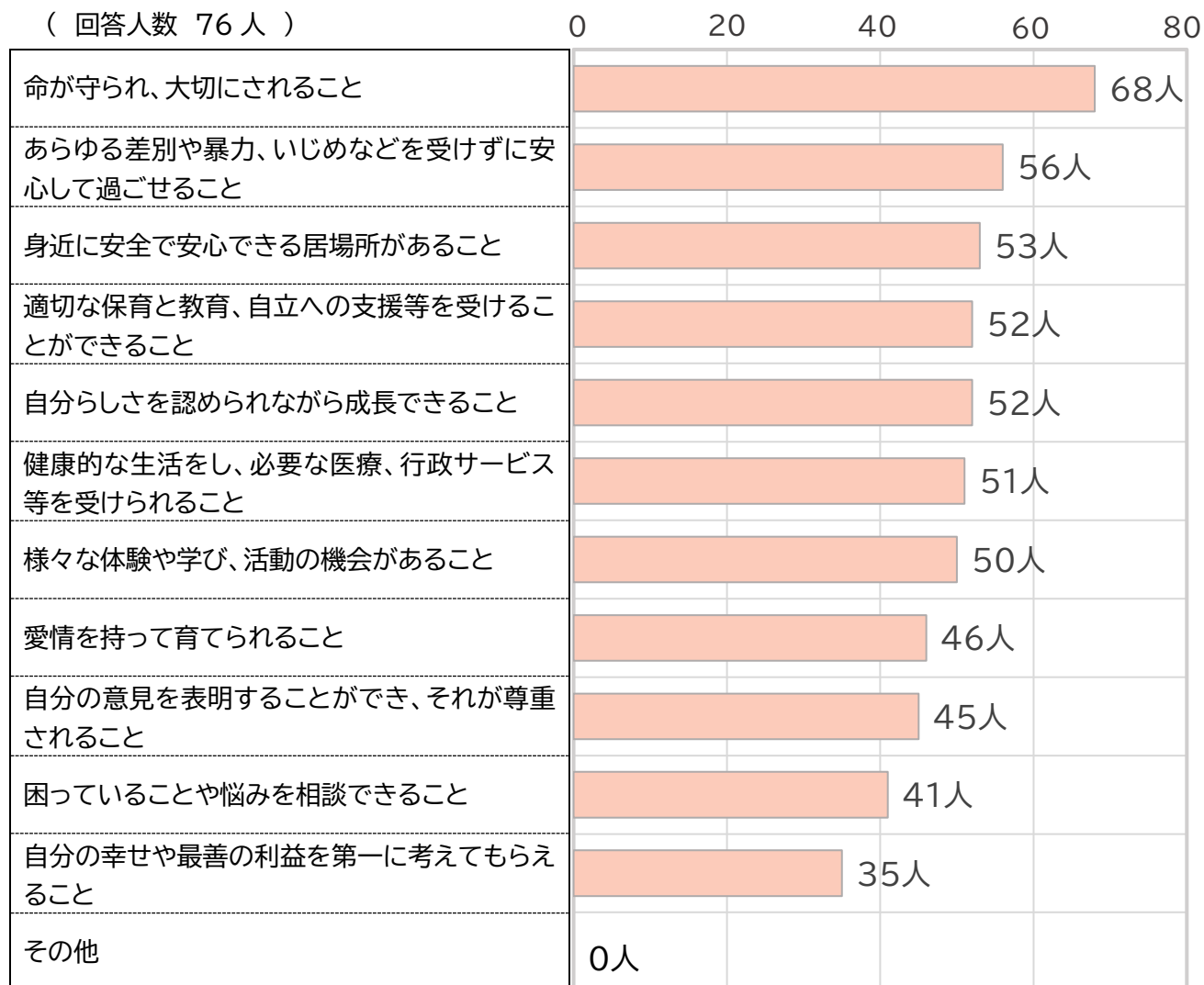
「聞いたことはあるが内容はよく知らない」が最も多く 36 人でした。
「知らない」は 11 人で、全体の約 15%となっています。



問 4

あなたが「子どもの権利」と思うものはなんですか。
いくつでも選んでください。

(回答人数 76 人)



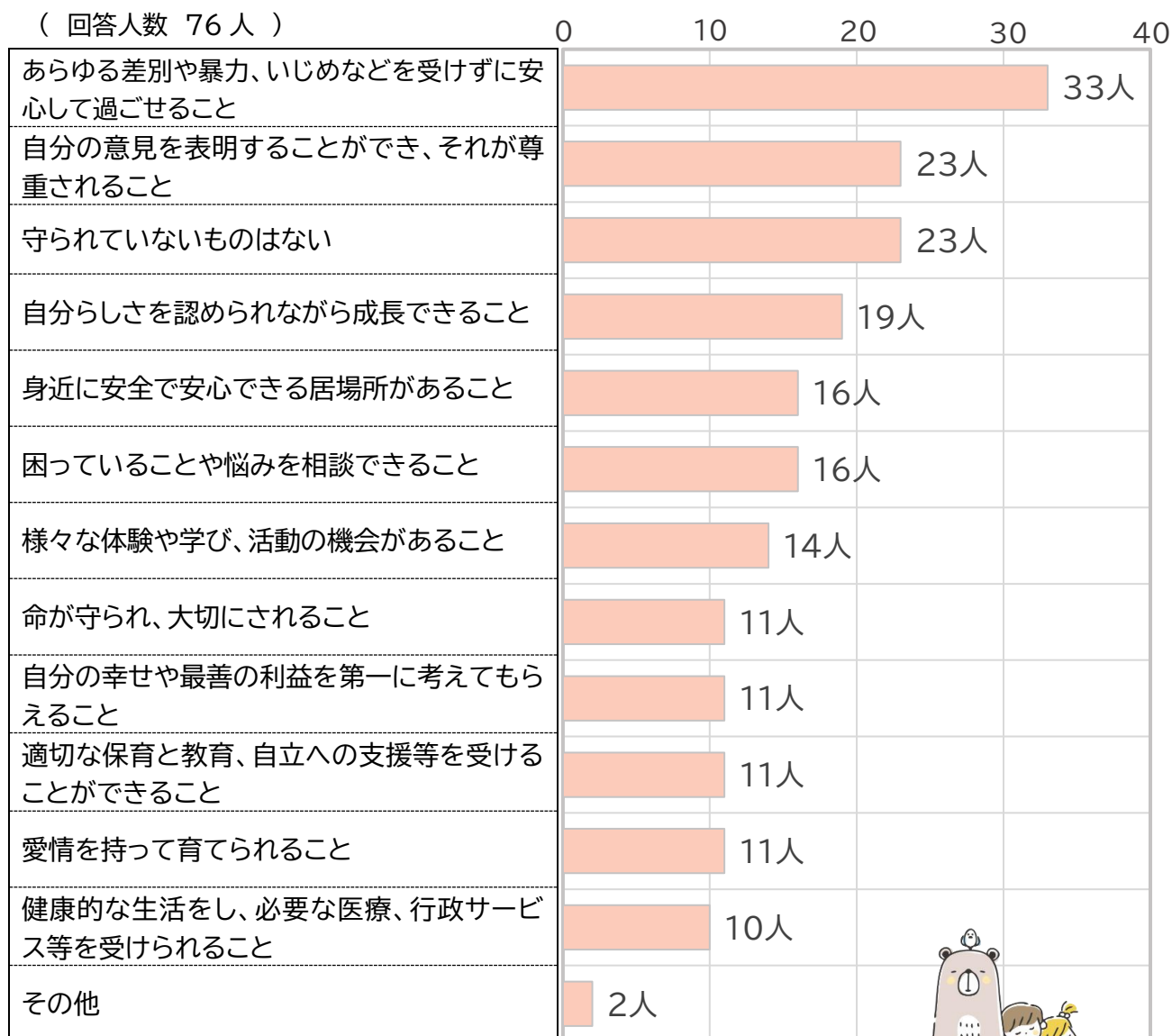
「命が守られ、大切にされること」が最も多く、次いで「あらゆる差別や暴力、いじめなどを受けて安心して過ごせること」、「身近に安全で安心できる居場所があること」となっています。



問 5

あなたやあなたの周りで、守られていないと思う「子どもの権利」はなんですか。いくつでも選んでください。

(回答人数 76 人)



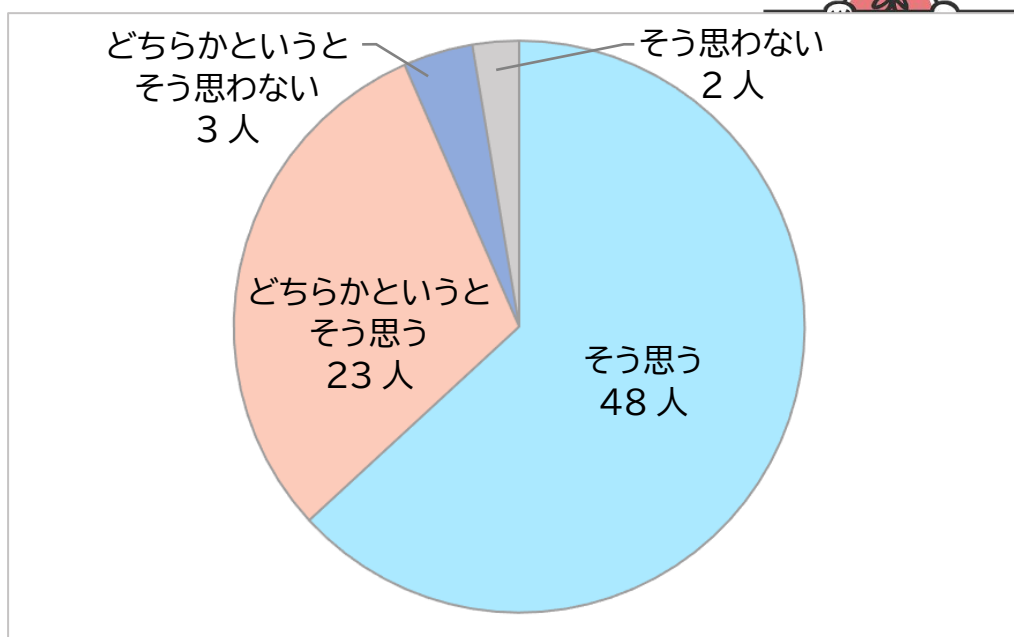
「あらゆる差別や暴力、いじめなどを受けずに安心して過ごせること」が最も多く、次いで「自分の意見を表明することができ、それが尊重されること」・「守られていないものはない」となっています。

その他の意見の中には「自分の気持ちをうまく発することができない、気づいてほしい」などがありました。

問 6

あなたは、大人に大切にされていると思いますか。

(回答人数 76 人)



「そう思う」が最も多く 48 人、「どちらかというと思う」が 23 人で、全体の 9 割以上でした。



2. 子ども条例について 🍡🍡

合計3～4問

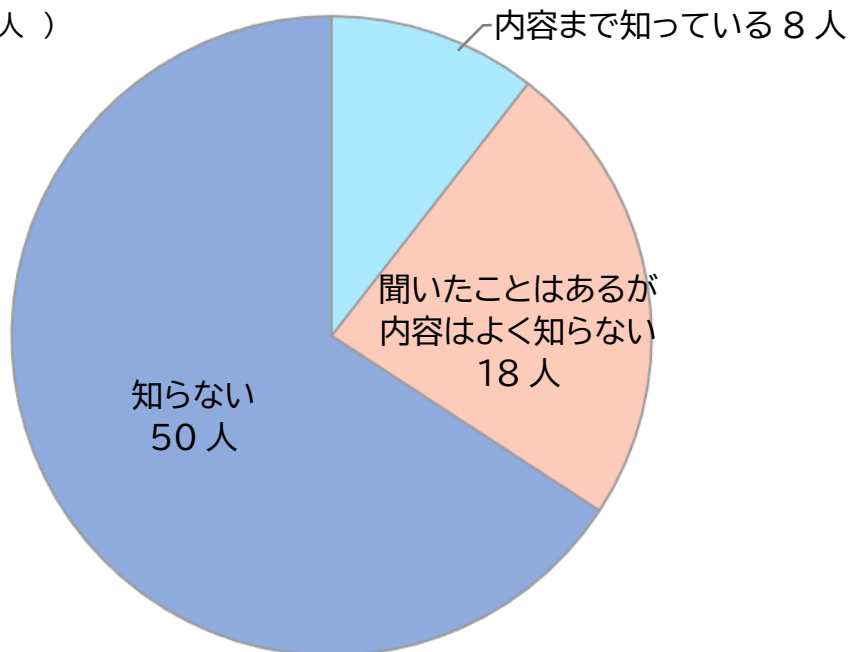


問 7

目黒区には子ども条例があります。知っていますか。



(回答人数 76 人)



「知らない」が 50 人で最も多く、全体の6割以上となっています。「聞いたことはあるが内容はよく知らない」が 18 人、「内容まで知っている」は 8 人でした。



目黒区子ども条例ってなに・・・???

**子どもが自らの意思でいきいきと育つために、
区が定めた決まりのこと。**

子どもは一人ひとりかけがえのない存在です。大人は、子どもと誠実に向き合い、子どもの思いを受け止めながら成長を支え、子どもが自立して責任ある社会の一員となるよう導いていく役割を担っています。

区では、「子育てを支えるまち」、「子どもが参加できるまち」、「子どもが安心できるまち」、「子ども一人ひとりのことを大切にするまち」の4つの目標に向けて、様々な取組を展開しています。

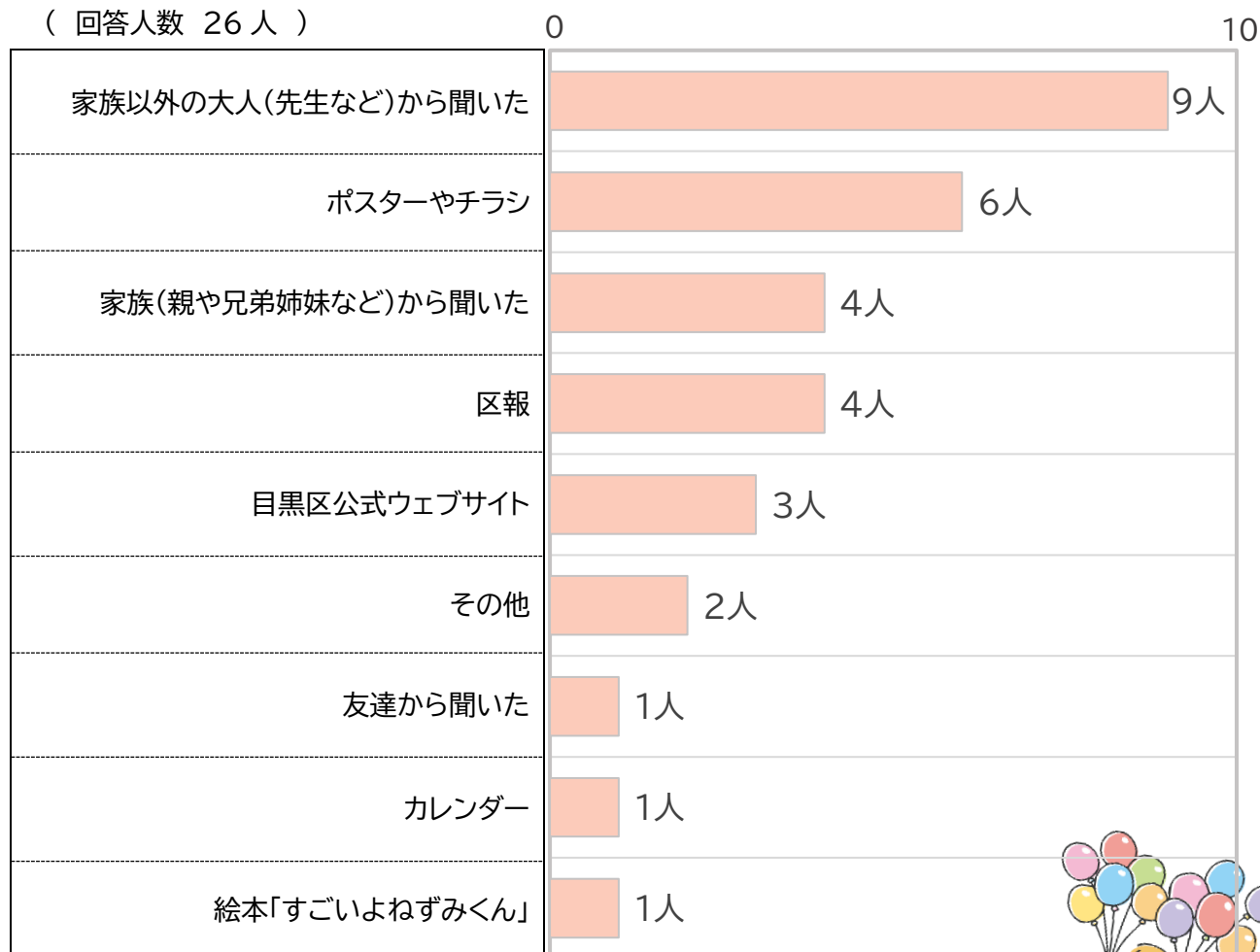
>>>目黒区子ども条例については[こちら](#)



問 8

【問7.内容まで知っている/聞いたことはあるが内容はよく知らないと回答した場合】
子ども条例をどのような方法で知りましたか。いくつでも選んでください。

(回答人数 26 人)



「家族以外の大人(先生など)から聞いた」が最も多く、次いで「ポスターやチラシ」、「家族(親や兄弟姉妹など)から聞いた」・「区報」となっています。

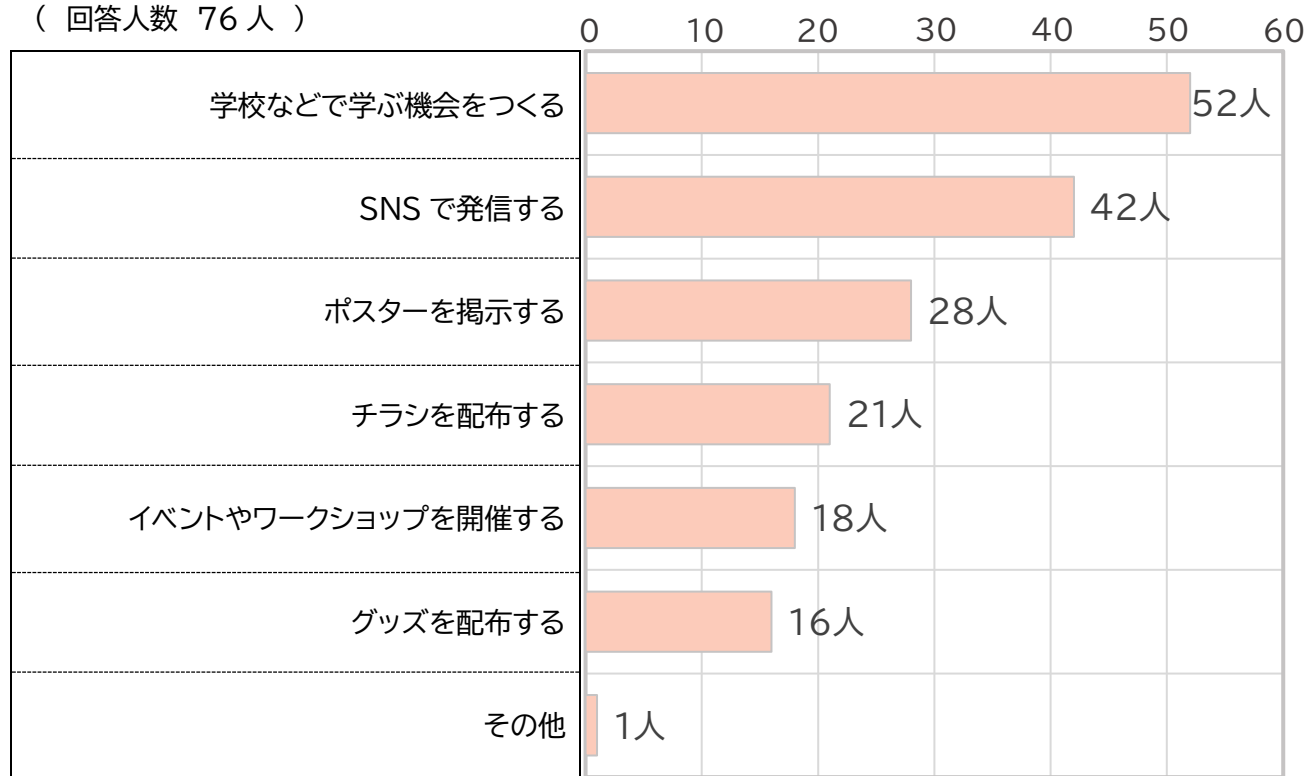
その他の意見には「学校で習った」、「権利関係に興味を持ったときに出てきた」がありました。



問 9

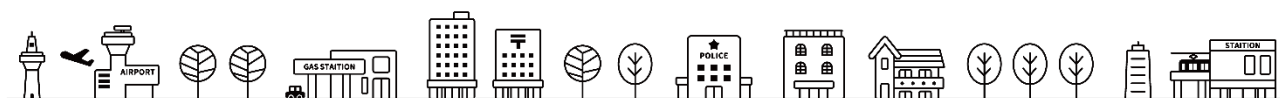
子ども条例を多くの人に知ってもらうために、必要なことは何だと思いますか。いくつでも選んでください。

(回答人数 76 人)



「学校などで学ぶ機会をつくる」が最も多く、次いで「SNS で発信する」、「ポスターを掲示する」となっています。

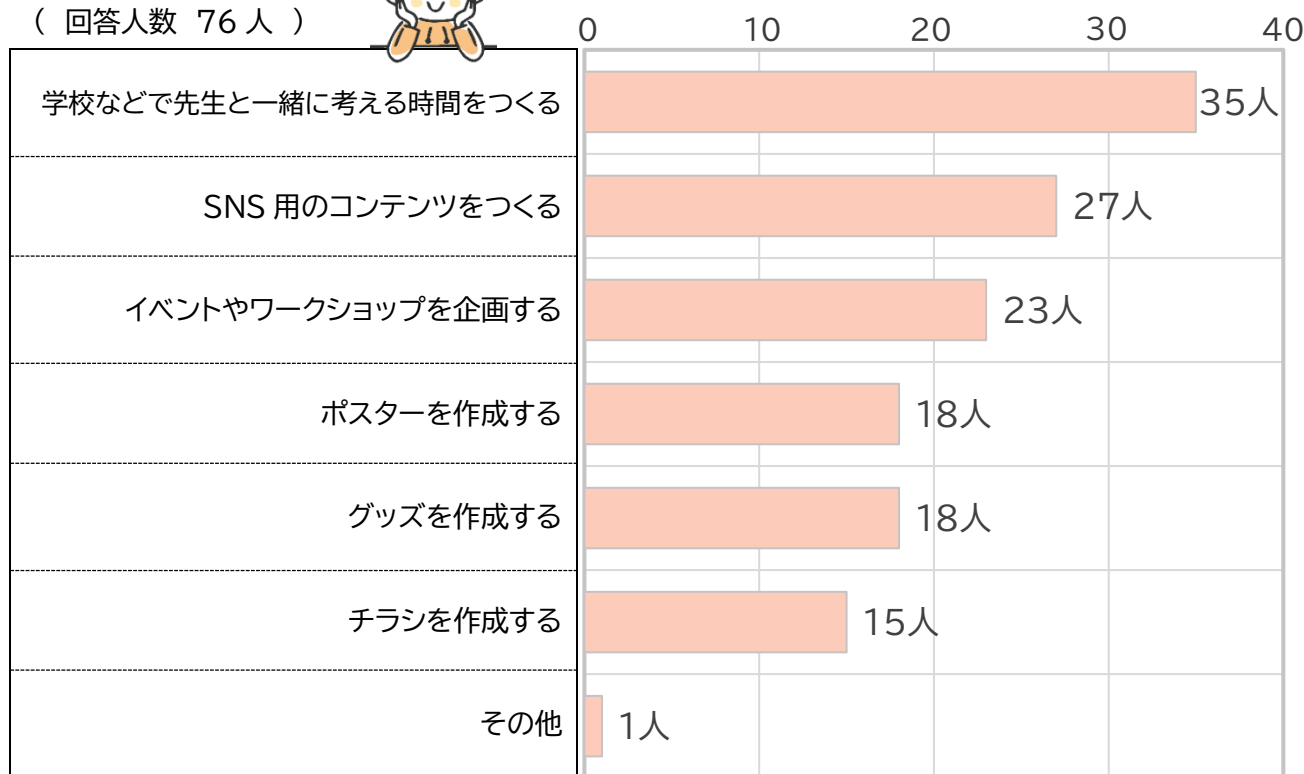
その他の意見には「アンケートの選択肢で具体的な SNS のアプリ名称を提示してほしい」がありました。



問 10

子ども条例を多くの人に知ってもらうために、参加してみてもいいと思うことはありますか。いくつでも選んでください。

(回答人数 76 人)



「学校などで先生と一緒に考える時間をつくる」が最も多く、次いで「SNS 用のコンテンツをつくる」、「イベントやワークショップを企画する」となっています。

その他の意見には「参加した、という証明してくれる魅力的な何かがあるなら、これらに参加してもいい」がありました。



目黒区子ども条例を知ってもらうために・・・

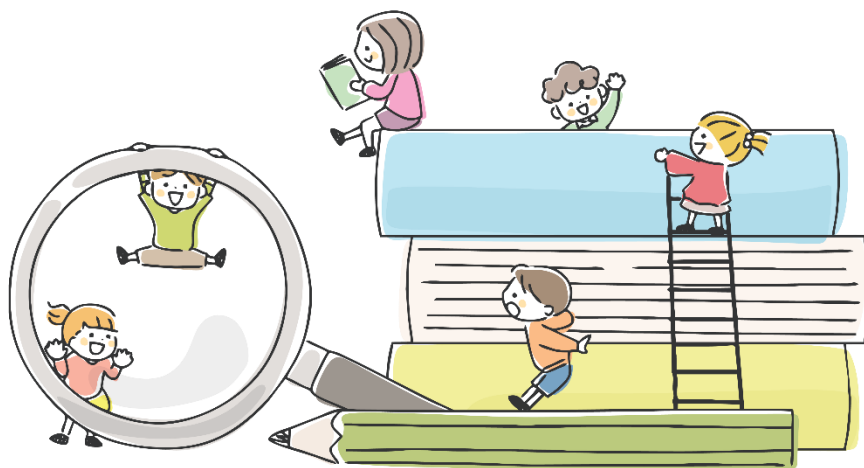
区では、子ども条例をより多くの人に知ってもらうため、毎年子どもたちから絵を募集し、カレンダーやポスターを作成し、区内の施設に掲示をしています。

子ども条例カレンダーの絵の Web 展示は[こちら](#)



3. 子どもの権利の相談について💡

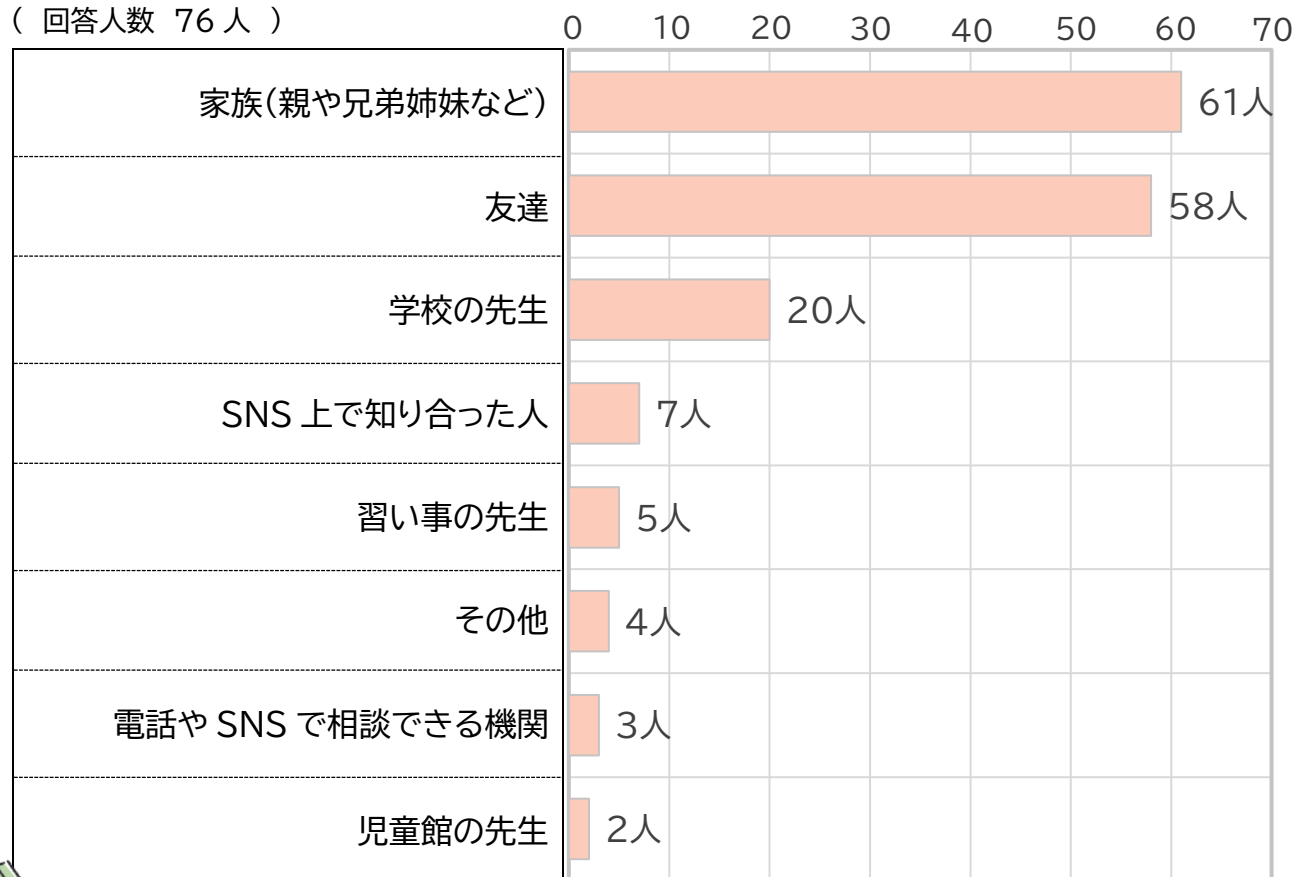
合計3～6問



問 11

あなたが困ったり悩んだりしたとき、どのような人・場所に相談しますか。いくつでも選んでください。

(回答人数 76 人)



「家族(親や兄弟姉妹など)」が最も多く、次いで「友達」、「学校の先生」となっています。

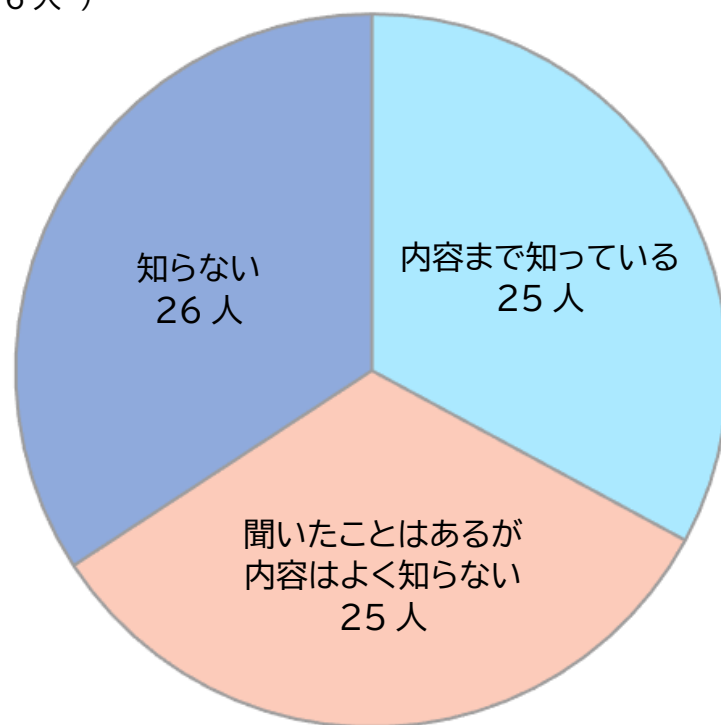
その他の意見の中には「メンタルクリニック」、「ぬいぐるみ」などがありました。



問 12

目黒区には、子どもが困ったときに電話で相談できる場所「めぐろはあとねっと」があります。知っていますか。

(回答人数 76 人)



「内容まで知っている」、「聞いたことはあるが内容はよく知らない」、「知らない」の回答人数は、ほぼ均等でした。



「めぐろ はあと ネット」って・・・？



家でも、学校でもないところが、あなたの困っていることや、苦しく思っていることをじっくり聴いて、どうしたらいいかを一緒に考えるところです。

あなたの悩みは誰にも話さないから、安心して相談してください。

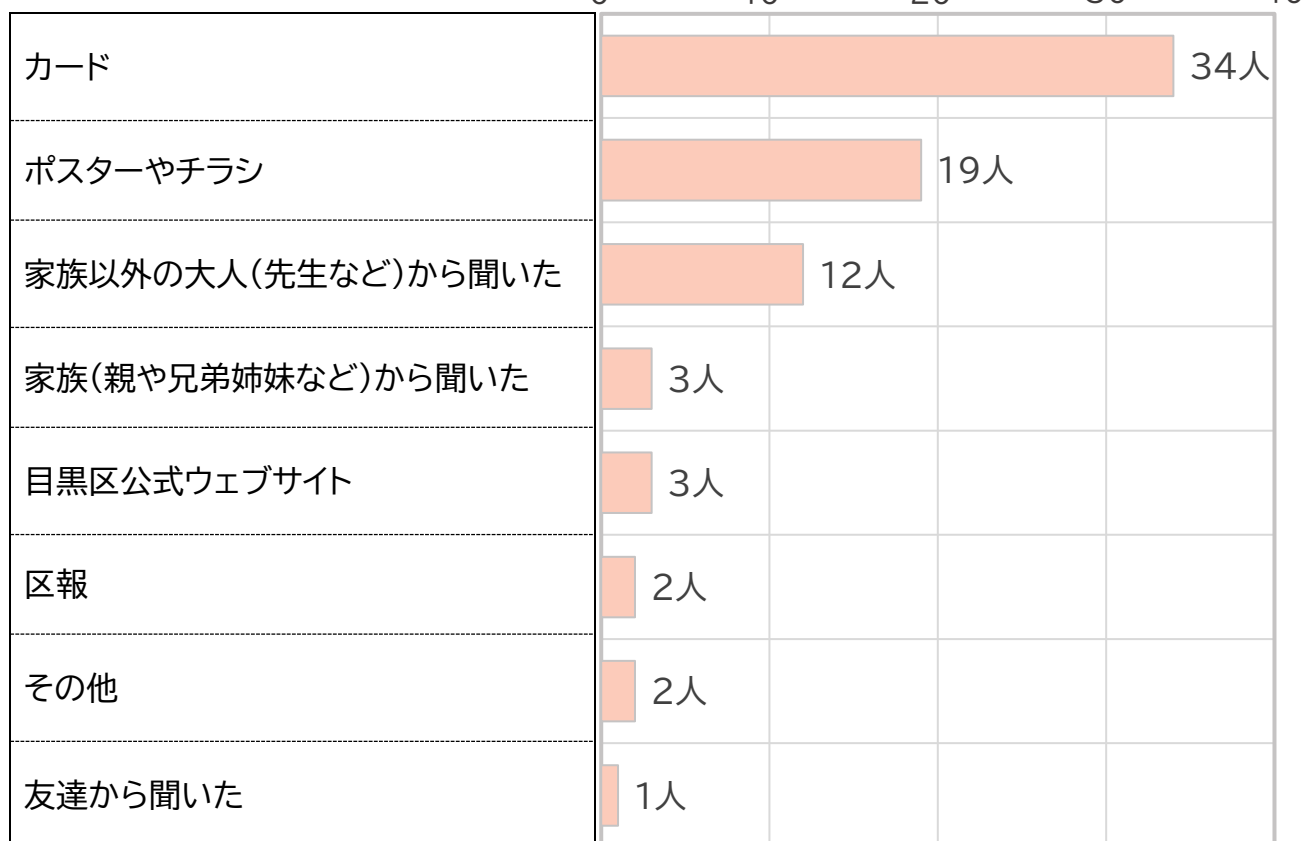


問 13

【問12. 内容まで知っている/聞いたことはあるが内容はよく知らないと回答した場合】

「めぐろはあとねっと」をどのような方法で知りましたか。いくつでも選んでください。

(回答人数 50 人)



「カード」が最も多く、次いで「ポスターやチラシ」、「家族以外の大人(先生など)から聞いた」となっています。

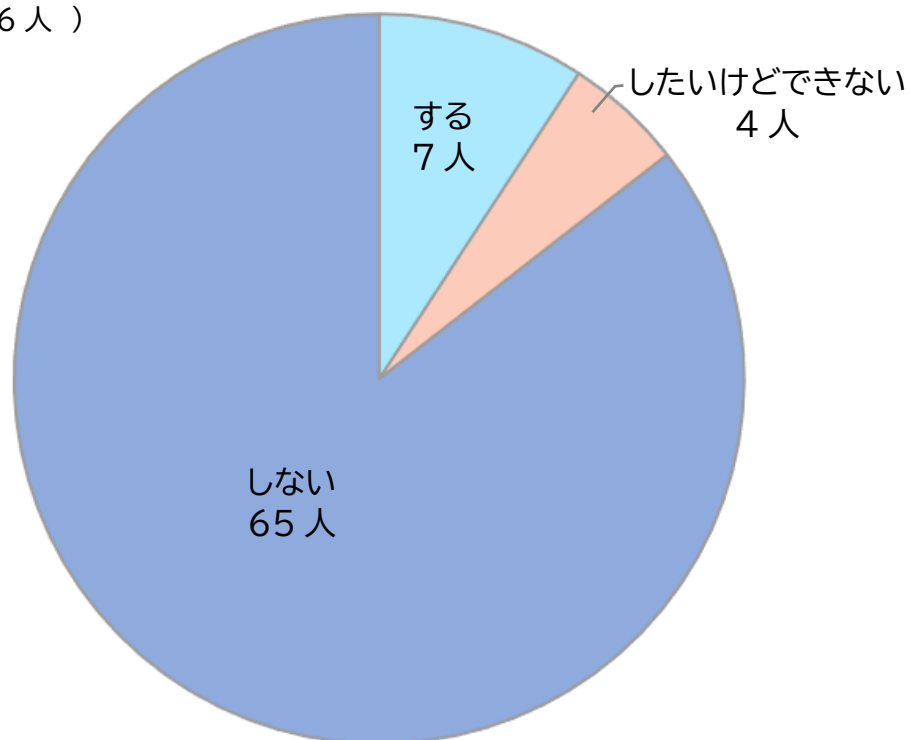
その他の意見の中には「学校で配られた」などがありました。



問 14

あなたは、困ったり悩んだりしたとき、「めぐろはあとねっと」に相談しますか。

(回答人数 76 人)



「しない」が最も多く 65 人で、全体の 8 割以上でした。



「する」と回答した場合

⇒ 問15-1 (18ページ)へ

「したいけどできない」と回答した場合

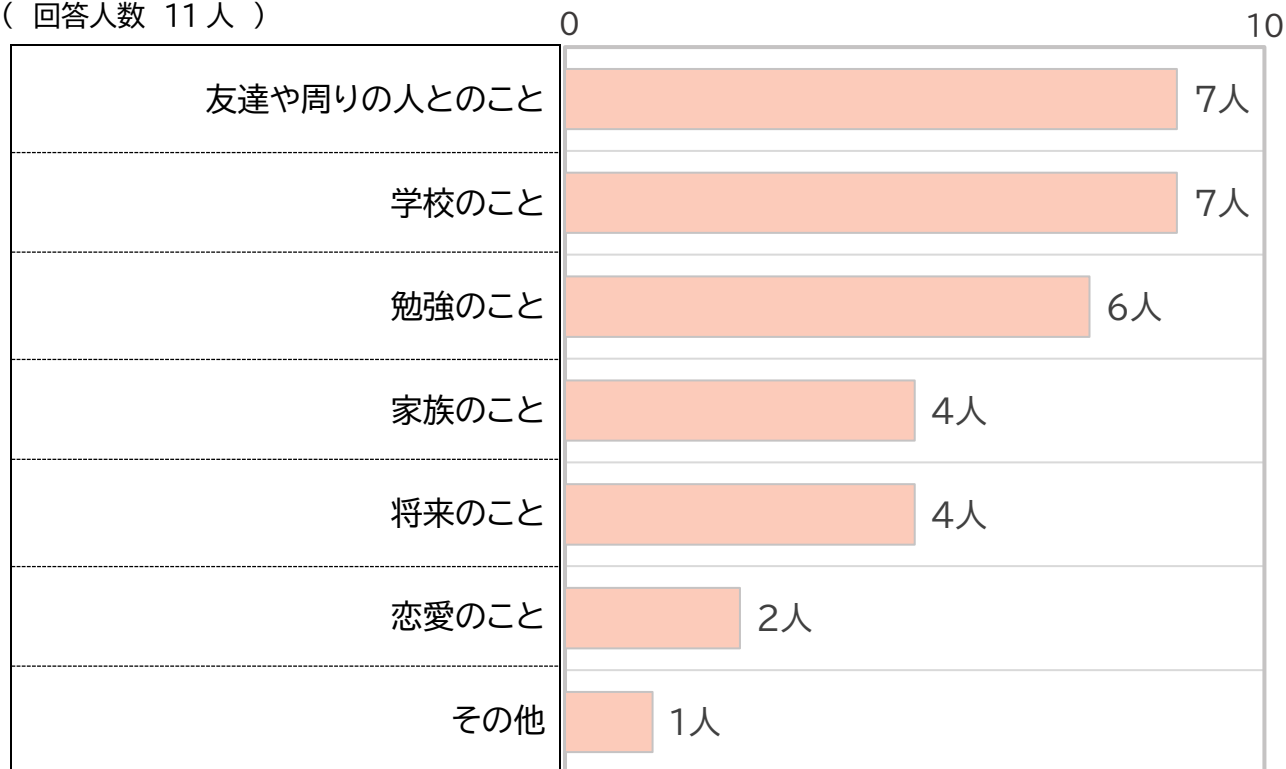
⇒ 問15-1、問15-2 (18~19 ページ)へ

問 15-1

【問14. する/したいけどできないと回答した場合】

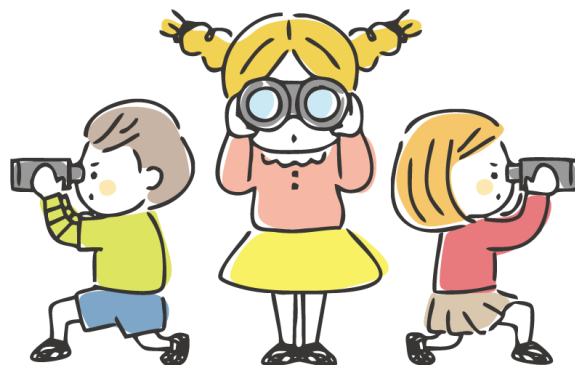
相談する場合、どんなことを相談したいですか。いくつでも選んでください。

(回答人数 11 人)



「友達や周りの人とのこと」・「学校のこと」が最も多く、次いで「勉強のこと」、「家族のこと」・「将来のこと」となっています。

その他の意見には「いまはない」がありました。



問 15-2

【問14.したいけどできないと回答した場合】

相談できない理由としてどのようなことがありますか。いくつでも選んでください。

(回答人数 4 人)

0

5

相談していいかわからないから	4人
相談するほどの悩みではないから	3人
どんなところかよく知らないから	2人
相談することで、大ごとになれたくないから	2人
他人に悩みを話すことが恥ずかしいから	1人
他人に悩みを知られたくないから	1人
相談の仕方がわからないから	1人
その他	0人



「相談していいかわからないから」が最も多く、次いで「相談するほどの悩みではないから」、「どんなところかよく知らないから」・「相談することで、大ごとになれたくないから」となっています。



どんな相談ができるの・・・？



学校の友達や先生のこと、好きな人のこと、ちょっとだけ不安なこと、何を相談しても大丈夫です。

☎0120-324-810 水曜～土曜 10時～17時



誰かに話すと、こころがホッとすることもきっとあるよ

4. まとめ ^{☆☆}

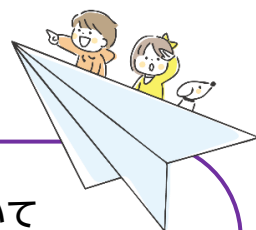
合計1問



問 16

今回のアンケートを通じ、「子どもの権利」について思ったことなどがあれば自由に書いてください。(自由記述)

(回答人数 32 人)



○ 子どもの権利について

- ・子どもの権利がもっと普及すると思う。
- ・子どもの権利を守るべきもの、子どもが主張すべきものをはっきりさせる努力をする必要があると思った。
- ・当たり前だと思うことは実は恵まれているものだと思った。

○ 大人への周知について

- ・子どもの権利を知って欲しいのは実は子どもよりも大人だと思う。
- ・もっとたくさんの人に、子どもだけでなく大人、先生にこそ、知ってもらうことが大切だと思う。
- ・権利を侵害する側の大人が知る事によってこそ生かされる権利なのではないか。

○ 相談について

- ・電話だけでなく、メールでの相談が増えるといいなと思った。
- ・気軽に安心して相談できる場所をつくる。
- ・スクールカウンセラーは相談しても結局バレてしまう。このシステムをやめてほしい。

○ 行政・制度への意見

- ・子ども・保護者・周囲の大人・職員など、別々のパンフレットにしたらもっと読んでくれると思った。
- ・目黒区は高齢者が多いので区の新聞等で特集を組むのはどうか。
- ・行政の力で子どもの権利が全ての子に同じレベルで持てたら良いなと思う。

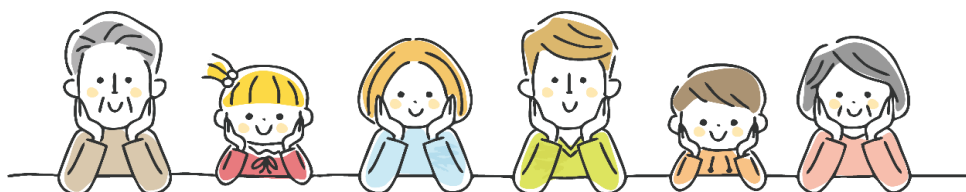


問 16

～そのほかの意見を紹介します～



- ・自分のおかれた環境が当たり前だと「それがおかしい」と感じたり、「自分自身の権利が損害されている」と気づけない場合もあるだろうから、学校でしっかり学ぶことが大切だと思った。
- ・子どもは社会的立場が弱いため、権利の侵害が起こりがちですが、本来は1番権利が必要な世代だと思った。
- ・もっとみんながそのことを知ってその制度にもたれかかって生きていけるようにしたらいいなと思った。
- ・私立中学なのでなかなか地元のお友達を作る機会がないので、そういった子どもたちにも相談しやすい場所があるといいなと思います。



◆お問い合わせ◆ 目黒区子ども若者課 子ども若者施策推進係
TEL 03-5722-8723